

第11回 雲取山

第1支部 井上塗料(株) 東京営業所
小野寺 啓容
平成14年11月2日 晴れ
3日 晴れ

快晴の11月2日(土)～3日(日)、東京都の最高峰である雲取山(2,018m)目指して、西武秩父駅に参加者6名が集合しました。今回は、雲取山荘で、1泊する行程になっています。三連休の方々が多いと思われ、駅周辺は特に年配の女性パワーが感じられましたが、各年代の人々が和気あいあい、これからの連休を楽しんでいるように見受けられました。

早速、徒歩で秩父鉄道の御花畑駅に行き、シーズンにはSL列車も運行されるローカル色豊かな風景を楽しみながら、20分程で終点の三峰口駅に到着しました。さらに、バスに乗り継ぎ大輪よりロープウェイにて三峰山頂駅着、奥秩父の前衛三峰山です。うっそうとした杉並木の山頂にある壮麗な社殿が三峰神社です。ここからが雲取山へのスタート地点と感じました。

一同参拝後、針葉樹の中の道に入って、妙法ヶ岳分岐を過ぎ、やがて急な登りになります。尚も進んで霧藻ヶ峰には、故秩父宮のレリーフが岩にはめこまれ、毎年ここで山開きとなるそうです。休息後次のポイント白岩山を目指してスタート、急な登りが終わったところに白岩小屋があり、登り詰めれば白岩山です。

一息ついて、第1日目の宿、雲取山荘を目指します。周囲はそろそろ入日の時刻となり、正にドイツ民謡ローレライの歌詞にあります“入日に山々紅く映ゆる”の世界で第1の感動を呼びました。

雲取山荘は、二昔以前に逆方向の大菩薩から登って来た記憶がありましたが、当時の面影はなく数年前に新築されました。

こちらシーズンですので、何と12畳とおぼしき部屋に16人が入り込まされ、私はふとんを出して空になった押入れにカプセルホテルよろしく寝てしまいました。

第2日目は、雲取山頂で、ご来光を仰げるよう早発ちし、6時過ぎには周辺を炎のようにしてのご来光に、第2の感動を受けた次第です。山頂からは右手に新雪をいただいた富士山が見え隠れする明るい草原の尾根歩きとなり、遠くには南アルプスの姿をかい間見る事が出来ました。

気分的には、2日目は下りですので楽な気持ちで石尾根経由で、午後奥多摩

駅に到着し、駅前で恒例の打ち上げを行ない初めての宿泊ハイキングを終了致しましたが、充実した2日間となりました。

最後になりましたが、参加されましたメンバーを御紹介致します。前後をガードしてくれるリーダーは、東塗商の中でもジェントルマンの磯部さん、穏やかな中にも硬派の血がたぎる乾さんの御二人です。いつもは打ち上げ会のみに参加される上田(憐)の原さん、賑やかな方で、この人がいると座が白らけません。そして常連となりました女優の水沢アキ似の原さんの奥さん(失礼、あちらが奥さんに似ているのです。)。丁子屋塗料の秦さんは、W大出身で新宿のビルオーナーで夜の巷でモテモテです。ご自分からは殆んど発言はされませんが、独特のムードを持っており、打ち上げの席での話が楽しみです。以上独断で失礼致しました。次回の忘年ハイキングを楽しみにしております。

平成14年12月16日(月)